| 学校番号 | 1101 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 言語文化 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編「言語文化」　（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | ビジュアルカラー国語便覧改訂版（大修館書店）<br>新編言語文化学習ノート（大修館書店） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しみ、正しく心情等を理解できるよう積極的な姿勢で授業に臨んでください。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。

【思考力、判断力、表現力等】
目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。

【学びに向かう力、人間性等】
言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。 | 「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 作品の主題について述べる<br>［教材］<br>「言葉の森を育てよう」 | a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。<br>b[読]：文章の内容や構成、展開などについて的確に捉えるとともに、他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。<br>c：進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして問いに対する自分の考えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえながらよりよいものにしようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |
| | 古典を現代の言葉で書き換える<br>［教材］<br>「児のそら寝」<br>「十二の『子』文字」 | a：古典の世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。<br>b[書]：自分の思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。<br>c：積極的に古典の理解を深めようとしているとともに、自分の思いが伝わるようにあらゆる工夫をしてよりよいものにしようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |
| | 小説を読み味わう<br>［教材］<br>「とんかつ」<br>「羅生門」 | a：言葉の特徴や漢字などについて理解し、知識を身に付けている。<br>b[読]：人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。<br>c：小説を通して他人の心情を理解する姿勢がみえる。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |
| 後期 | 和歌、短歌、俳句、詩の表現について考え、お互いの解釈を比較する<br>［教材］<br>詩歌の調べ<br>「春のうた」<br>「夏のうた」<br>「秋のうた」<br>「冬のうた」 | a：我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解することができる。<br>b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、他者の意見と比較することで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ことができる。<br>c:積極的に他者の意見を理解しようとするとともに、作者の意図を汲み取った上で自分の考えにいかそうとしている。 | | | |
| | 漢文を現代の言葉で書き換える<br>［教材］<br>「五十歩百歩」<br>「借虎威」 | a: 訓読のきまり(書き下し文の原則)を理解している。<br>b[書]: 漢文訓読の文体に注意しながら書き下し、現代語になおしている。古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。<br>c: 漢文訓読の文体に注意しながら読もうとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間